

令和5年度

益子町子ども議会会議録

益子町・益子町教育委員会

令和5年度益子町子ども議会会議録

－令和5年11月6日（月）14時40分開会

[子ども議会議員]

- ・ 1番 薄羽 秀晃 (益子西小6年)
- ・ 2番 田中 結愛 (益子西小6年)
- ・ 3番 石川 恵里香 (益子西小6年)
- ・ 4番 三村 勇斗 (益子西小6年)
- ・ 5番 神田 千迅 (益子西小6年)
- ・ 6番 海老澤 駿 (益子西小6年)
- ・ 7番 小林 輝己 (益子西小6年)
- ・ 8番 大島 琉翔 (益子西小6年)
- ・ 9番議長 川島 璃乃 (益子西小6年)

[町執行部]

- | | | | |
|---------|-------|----------|--------|
| ・副町長 | 坂入 武司 | ・農政課長 | 高塩 栄二 |
| ・教育長 | 三田 進 | ・住民課長 | 鮎沢 永子 |
| ・総務部長 | 大塚 栄 | ・環境課長 | 永嶋 祐子 |
| ・産業建設部長 | 池田 浩之 | ・学校教育課長 | 三尾谷 治 |
| ・民生部長 | 仁平 秀子 | ・生涯学習課長 | 福島 礼司 |
| ・総務課長 | 高濱 具己 | ・健康福祉課長 | 梅津 かほる |
| ・企画課長 | 石塚 誠 | ・高齢者支援課長 | 川又 宏之 |
| ・税務課長 | 和久 努 | | |
| ・建設課長 | 福田 浩一 | [町議会議員] | |
| ・会計課長 | 飯村 正行 | ・議長 | 小島 富子 |
| ・観光商工課長 | 鮎沢 義則 | ・副議長 | 大関 保 |

[事務局]

- ・事務局長 保坂 敦子

－ 開会 14時46分 －

議長 皆さん、こんにちは。これより、国旗、町旗に対して敬礼を行います。傍聴の方もお願いいたします。礼。おなおりください。開会に先立ち、坂入武司副町長よりご挨拶をいただきます。

坂入副町長 議員の皆さんには、令和5年度益子町子ども議会にご出席をいただき、ありがとうございます。本来であれば、広田益子町長がここで皆さんにご挨拶を申し上げるところですが、急な体調不良により本日の出席が叶いません。広田町長は大変残念がっておられました。皆さんにくれぐれもよろしくお伝えくださいということでございました。

さて、本日の質問についてでありますけども、教育長、担当する部長、課長から答弁をいたします。そして、私からは全ての質問終了後に総括的にお話をさせていただきます。

初めての議会で緊張されている方もいらっしゃると思いますが、町の様々な取り組みを問いただし、提言をするということを通じまして、地域の関心をさらに高めていただければ思っております。期待しておりますので、どうぞ頑張ってくださいと思います。今日はよろしく願いいたします。

議長 続きまして、益子町議会議長よりご挨拶をいただきます。

小島議長 益子西小学校の皆さん、こんにちは。益子町議会議長の小島富子です。

一言ご挨拶申し上げます。

本日、子ども議会が開催されますことを心よりお慶び申し上げます。

未来の益子町を担う6年生の皆さんが積極的に意見や提案をし、町の議会や行政に関心を深め、子どもの視点で益子、町政へ提言することなどが目的となっています。今日の日を迎えるために、先生方を始め、関係者一同、特に6年生の皆さんたちが4月よりスタートして、長い時間をかけてまとめられた質問だと思えます。

いよいよ今日は晴れ舞台。大丈夫です。いつものように大きな声で自信を持って1人1人の思い・夢・考えを副町長に質問すれば良いのです。皆さんの声、願いが、直接、町に届き、多くの人たちが幸せになれるように未来を築いてほしいと願っています。

社会に出たら自分で考え、決めなければならないことがたくさんあります。勇気を出して、チャレンジしてみてください。今日の子ども議会を通し、昨日の自分より、大きく成長できた自分にきっと気付くことでしょう。

結びになりますが、これまでご尽力をいただいた先生方を始め、関係者一同の皆様、心より感謝を申し上げますとともに、益子西小6年生の皆さんが健やかに成長されますことをご祈念申し上げまして挨拶とさせていただきます。

今日はよろしく願いいたします。

議長 ただ今の出席子ども議員数は9名です。本日の子ども議会においては、議場及び傍聴席からの写真・ビデオ撮影等について、これを許可します。なお、議場における撮影等については、益子町役場の職員をもって行います。ただ今から、令和5年度益子町子ども議会を開会いたします。これより、本日の会議を開きます。日程第1、会議録署名議員の指名を行います。会議録署名議員は、会議規則第118条の規定により議長において、2番、田中結愛議員。7番、小林 輝己議員を指名いたします。日程第2、会期の決定を議題といたします。この件につきましては、先の会議において会期日程の決定をしてありますので、子ども議会運営委員会の報告を求めます。子ども議会運営委員長、薄羽 秀晃議員。

薄羽議員 はい。議長。

議長 薄羽秀晃議員。

薄羽議員 子ども議会運営委員会の報告をいたします。10月23日、午前11時より議場におきまして、令和5年度益子町子ども議会の日程について審議をいたしましたので、その結果をご報告いたします。会期につきましては、本日11月6日の1日限りといたします。日程につきましては、日程第1、会議録署名議員の指名について及び日程第2、会期の決定についての後、日程第3、行政に関する一般質問を行い、日程第4、子ども議会宣言についてとします。なお、日程の繰り上げ、繰り下げにつきましては、議長の裁量によるものとします。以上、報告を終わります。

議長 子ども議会運営委員会の報告を終わります。確認いたします。ただ今の委員長報告通り、会期を本日1日限りとすることに、ご異議ありませんか。

議員 異議なし。

議長 異議なしと認めます。よって、会期は本日1日限りとすることに決しました。

議長 日程第3、行政に関する一般質問を行います。1番、薄羽 秀晃議員の一般質問を許可します。

薄羽議員 はい。1番、薄羽秀晃です。

議長 1番、薄羽秀晃議員。

薄羽議員 益子町には、すばらしい観光地がたくさんあります。それらを紹介するための「益子町観光パンフレット」も作成されており、町の魅力が発進されていることを知りました。今年の春の陶器市には約35万8千人の観光客が益子町を訪れたそうです。

そこで、益子焼きだけでなく、他の魅力にも触れていただくために、文化遺産をめぐる文化遺産ツアーや益子検定、スタンプラリー、イベントなどを年間通して実施することにより、多くの観光客に益子町に足を運んでいただくことができるようになると思います。また、そうしたイベント等をインターネットを活用し発信することで、益子町の魅力を世界の人々に知っていただくことができると思います。

町としてのお考えをお聞かせください。

議長 1番、薄羽 秀晃議員の質問に対し執行部の答弁を求めます。

池田産業建設部長 はい。議長。

議長 池田浩之産業建設部長。

池田産業建設部長 はじめに、議員がおっしゃるとおり、益子町には素晴らしい観光資源が数多くあり、観光パンフレットやSNS等で町の魅力も積極的に発信しています。また、町最大のイベントである陶器市には多くの観光客の方が訪れている一方で、益子焼き以外の観光資源を知っていただいたり、触れていただ

いたりする機会はまだまだ少ないのが現状です。

陶器市の期間以外にも年間を通して、より多くの観光客の方々に町にお越しいただくためには、ご提案いただいた文化財ツアーやスタンプラリーなど、様々なイベントの実施について検討していきたいと考えております。

現在、町のホームページやインスタグラムで町の魅力を発信していますが、今後はさらに、内容を充実させ、日本人だけでなく、より多くの海外の方々にも、町を訪れていただけるよう、情報発信に取り組むと共に、おもてなしサービスの充実や受け入れ体制の整備も進めていきます。

議長 執行部の答弁が終わりました。再質問があればこれを許します。

薄羽議員 はい。議長。

議長 1番、薄羽秀晃議員。

薄羽議員 イベントの実施、情報発信の充実への前向きなご検討ありがとうございます。積極的な情報発信をすることで、より多くの方に益子町の魅力を知っていただけたと思います。町のホームページやインスタグラムはたくさんの情報を得る手段として活用するもので、内容の充実や海外の方々への発信により、もっと益子町の魅力を世界中の多くの人々に知っていただけたと思います。受け入れ体制の整備を進めていくということですが、益子町には観光客の宿泊施設が少ないと感じています。宿泊施設が増えるとよいのではないのでしょうか。ご検討よろしくをお願いします。

議長 再質問に対し執行部の答弁を求めます。

鮎沢観光商 はい。議長。

工課長 薄羽議員がおっしゃるとおり、インターネットを活用して町の魅力を積極的に情報発信することで、外国人観光客の方を含め、より多くの観光客の方に町を訪れていただけるよう、今後も町を挙げて取り組んでいきたいと考えております。

また、多くの観光客に訪れていただけるだけでなく、できる限り町内に滞在していただける工夫をし、受け入れ体制としての宿泊施設の整備につきましては、宿泊事業者の方とも調整を図りながら、長く町内に滞在していただけるよう前向きに検討を進めてまいります。

薄羽議員 ありがとうございます。以上で一般質問を終わらせていただきます。

議長 1番、薄羽秀晃議員の一般質問を終わります。

2番、田中結愛議員の一般質問を許可します。

田中議員 はい。2番、田中結愛です。

2番、田中結愛議員。

益子町には、豊かな自然があり、田畑が広がっています。これからも、広い田んぼでたくさんのおいしいお米が育ってほしいと思います。ただ、益子町は高齢化と人口減少が続いており、農業においても担い手不足が心配されます。そこで、社会科の授業で知った、スマート農業を益子町でできたらよいのではないかと考えました。そうすることで、担い手不足を軽減できるので

はないでしょうか。また、テクノロジー関係の職業として、新規雇用の促進につながると考えます。

実際に県内でも、「ICTを利用した水管理システム」や「自動運転田植機」などが導入されています。それらを知って、農業に対するイメージがカッコいいと観じました。

しかし、導入したくても機械は高額のため、資金面で厳しい状況もあると考えられます。そこで、機械導入の補助金やスマート農機者シェアリングなど町としてスマート農業をスタートする支援をしてはどうでしょうか。

のどかな自然のよさと、新しい技術が融合する農業は、益子町の新たな魅力の一つになると思います。

町としてのお考えをお聞かせください。

議長 2番、田中結愛議員の質問に対し執行部の答弁を求めます。

池田産業 はい。議長。

建設部長

議長 池田浩之産業建設部長。

池田産業 田中議員の質問にお答えします。農業は、田んぼや畑でお米や野菜など、農産物をつくるだけでなく、水害を予防したり、美しい景観を生み出したりするなど、私たちの暮らしに深い関わりがある産業であります。益子町にとって、農業は主要な産業の一部であります。田中議員が心配されているとおり、農業の分野においても、高齢化や担い手不足などが進んでおります。これらの問題を解決する手段として、スマート農業の推進は、極めて重要な施策であると考えております。ロボット技術や情報通信技術は日々進化しており、ご紹介いただいたICT水管理システムは、田んぼの水位をセンサーにより自動管理したり、遠隔操作により管理したりすることができます。また、自動運転が可能な田植機やトラクターなども開発されているほか、ドローンによる上空からの種まきや肥料散布、農薬散布なども普及してきています。これらはとても便利なツールであり、ロボット技術や情報通信技術の活用は、農業者の労力や時間を軽減してくれるものと期待しております。今後、若い方が農業に関心をもち、農業を職業として選択してもらうには、作業の省力化、効率化につながるスマート農業の導入は、極めて有効であると考えます。しかし、これらの導入に関しては、高額な費用が高いハードルとなっていることから、町としましても、ご提案のあった資金面での助成やシェアリングに関する仕組みづくりなど、若い方でも農業に参入しやすいシステムづくりなどを検討していきたいと思っております。

議長 執行部の答弁が終わりました。再質問があればこれを許します。

田中議員 はい。議長。

議長 2番、田中結愛議員

スマート農業の導入について前向きなご検討ありがとうございます。ドローンによる上空からの種まき肥料散布、農業散布などが実際に田んぼで行われている様子を見ることがあります。自動運転可能な田植え機やトラクターの開発も進んでいることなども分かりました。高齢化や人口減少による耕作放棄地を有効活用した大規模経営にもつながるのではないのでしょうか。ドローン資金面や、仕組みづくりなど課題は多くあると思いますが、主要産業である農業を絶やさないためにも、引き続きご検討いただきと思います。よろしくお祈りします。

高塩農政課 はい。議長。

長

議長 高塩栄二農政課長。

高塩農政課 田中議員のご意見のとおり、スマート農業を導入することにより、農作業の省力化や効率化、少人数でも大規模な経営が可能になったり、耕作放棄地の解消にもつながるものと期待するところでございます。国や県の補助制度の他、町としても有効な支援等、仕組みづくりを検討して参ります。

田中議員 ありがとうございます。以上で一般質問を終わらせていただきます。

議長 2番、田中結愛議員の一般質問を終わります。

3番、石川恵理香議員の一般質問を許可します。

石川議員 益子町は、町を一年中花で包まれた美しいまちにすることで、益子に住む誰もが心豊かな生活を送り、また、益子を訪れる方を笑顔でおもてなしできるようにするための「ましこ花のまちづくり事業」を行っています。

その中に、「菜の花・桜祭り」「ひまわり祭り」「コスモス祭り」というましこ三大花祭りがあります。本年度の小宅古墳群での菜の花・桜祭りでは、バルーンショーやマジックショー、昔遊びコーナーやどこでもドアのフォトスポットなどのイベントが行われていたことを知りました。

そこで、この三大花祭りの際に、さらに子供から大人まで、幅広い年齢層が参加できるイベントを行ってみてはいかがでしょうか。例えば、「ひまわり畑でかくれんぼ」や「コスモス畑で『14ひきシリーズ』ねずみ探し」などはどうでしょうか。また企画を SNS を通じて募集したり、各学校にアイデアを募集したりすると様々なアイデアが集まり、観光客が増えると思います。

町としてのお考えをお聞かせください。

議長 3番、石川恵理香議員の質問に対し執行部の答弁を求めます。

三田教育長 はい。議長。

議長 三田進教育長。

三田教育長 石川議員の質問にお答えします。

益子町では、景観づくり事業の一つとして、花のまちづくり事業を行っています。特に三大花祭りは、春の「菜の花・桜」、夏の「ひまわり」、秋の「コスモス」と、地域の方々のご協力により、毎年、たくさんのきれいな花を咲かせていただいております。

この三大花祭りは、昨年はコロナ禍もありましたが、約9万5千人の方に花畑を訪れ

ていただきました。また、今年行われた、ひまわり祭り・コスモス祭りにも、たくさんの方に益子町へお越しいただき、大変多くのにぎわいがございました。

今後、さらに観光客を増やしていくには、議員のお考えのように、子どもから大人まで幅広い年齢層が楽しめる魅力的なイベントの実施が重要であると考えられます。特に、若い皆さんのご提案は、私たちの想像をはるかに超える素晴らしいアイデアが生まれることがあります。今後、ご提案いただいたような魅力あるイベントが実施できるよう、また、アイデアの募集方法等につきましても、行政だけでなく地元のみなさんの協力や学校などの関係機関との連携をして、益子町を訪れてくれる方が、より一層多くなるよう努めて参りたいと考えます。

議長 執行部の答弁が終わりました。再質問があればこれを許します。

石川議員 はい。議長。

議長 3番、石川恵理香議員。

石川議員 ご検討ありがとうございます。

町全体で一丸となって連携することがとても大切なのだと分かりました。これからも魅力的なイベントが増え、益子町を訪れる方がより一層増えることを楽しみにしています。魅力的なイベントを増やしていくためには、費用もかかると思います。ひまわり祭りやコスモス祭りで、はさみを100円で貸し出すなど、すでに行っている取り組みを知りました。その他、今後のイベントのアイデアなど、ご検討よろしくをお願いします。

議長 再質問に対し執行部の答弁を求めます。

福島生涯学 はい。議長。

習課長

議長 福島礼司生涯学習課長。

福島生涯学 議員からご提案いただいたイベントのアイデアについては、これを参考と
習課長 させていただき、地元団体の方たちと、実施可能か相談していきたいと思います。また、担当課からも何か他にも出来ないかアイデアを検討し、地元団体の方たちと力を合わせ、より多くの方に益子町の花を見に来ていただけるよう進めて参りたいと考えております。

石川議員 ありがとうございます。以上で一般質問を終わらせていただきます。

議長 3番、石川恵理香議員の一般質問を終わります。

議長 4番、三村勇斗議員の一般質問を許可します。

三村議員 はい。4番、三村勇斗です。

議長 4番、三村勇斗議員。

三村議員 益子町には、益子焼きだけでなく、パン屋やカフェなどもあり、近年では若者にも注目されています。さらに貯めて使えるポイントカード「mashipo」があり、町外の方も使えてお得に買い物ができます。しかし、そういった観光資源がありながらも、新型コロナウイルスの影響もあつてか、観光客や町内のイベントの参加者の減少という問題があります。そこで、イベントで「mashipo」の還元率を上げたり、ポイントを配布したり、ポイントで交換で

きるグッズを用意したりするのはいかがでしょうか。さらに、電子マネー化も進むことで、観光客の増加だけでなく「mashipo」の利用者の増加も考えられ、一石二鳥だと考えます。私たち小学生も本や文房具を買う際に利用したいです。

町としてのお考えをお聞かせください。

議長 4番、三村議員の質問に対し執行部の答弁を求めます。

池田産業建設部長 はい。議長。

設部長

議長 池田浩之産業建設部長

池田産業建設部長 三村議員の質問にお答えします。

設部長 はじめに、議員がおっしゃるとおり、益子町を訪れる観光客数は新型コロナウイルスの影響もあり、令和2年度と3年度は大きく落ち込み、令和4年度は回復してきたもののコロナ前の数字には戻っておりません。また、mashipoは例年、年4回程度のキャンペーンを実施しており、令和4年度は半額ポイントバックキャンペーンや3倍ポイントキャンペーン、ジュースプレゼント及び福引き大会を実施しましたが、これらは他のイベントと連携しているものではなく、mashipo単体で行ったものです。議員がおっしゃるとおり、ほかのイベントと連携することで、イベントの参加者やmashipoの利用者が増加するなど、相乗効果が期待できることから、イベントの主催者と連携しmashipoコーナーを設けたり、キャンペーンを実施するなどの施策を考えていきたいと思えます。

今後につきましては、電子マネー化について研究を進め、利用者の更なる利便性向上に資するよう取り組んでいきます。

議長 執行部の答弁が終わりました。再質問があればこれを許します。

三村議員 はい。議長。

議長 4番、三村勇斗議員。

三村議員 ご検討ありがとうございます。町でもすでに、半額ポイントバックキャンペーンや3倍ポイントキャンペーンなど、いろいろと工夫して実施していることが分かりました。イベントとmashipoの連携や電子マネー化が進み、観光客やmashipo利用者が増えることを願います。私個人としても利用が大変楽しみです。

今後は、陶器市において、観光客の方にもmashipoを利用してもらえる特典を付けたり、益子町プレミアム商品券の役割を合わせもてたりするとさらに活用してもらえるのではないのでしょうか。引き続き、ご検討よろしくお願ひします。

議長 再質問に対し執行部の答弁を求めます。

鮎沢観光商工課長 はい。議長。

工課長

課長 鮎沢義則観光商工課長。

鮎沢観光商工課長 三村議員がおっしゃるとおり、観光客など町外の方にも活用していただくこ

とは重要と考えております。mashipoやプレミアム商品券の発行の目的・役

割から考え直すことにより、より効果的なシステムの構築を目指すとともに、お店側にも消費者側にも簡単で便利なシステムになるよう検討を進めているところです。これからも mashipo などの加盟店や利用者の増加、満足度の向上を図って参ります。

三村議員 ありがとうございます。以上で一般質問を終わらせていただきます。

議長 4番、三村勇斗議員の一般質問を終わります。

議長 5番、神田千迅議員の一般質問を許可します。

神田議員 はい。5番、神田千迅です。

議長 5番、神田千迅議員。

神田議員 益子町には伝統工芸品である益子焼があります。県外からの人気も高く、陶器市では、毎年多くの観光客で賑わいます。しかしその一方で、観光客の車がたくさん通り、至る所で渋滞が起こっているのが現状です。渋滞の影響で、町民は買い物も一苦勞です。益子町は細い道や片側一車線の道も多く、それが渋滞の一つの原因になっていると考えます。地元の住民としては、観光客がたくさん来てくれるうれしさと渋滞による不便さを感じています。

渋滞緩和のために、渋滞しやすい城内坂など陶器市のスポットを周遊するシャトルバスを運行してはどうでしょうか。陶器市中心部から離れている無料駐車場から発車することで陶器市期間中の渋滞を緩和できるのではないかと思います。コロナ禍前は、シャトルバスが運行されていたようですが、車で来た方は近くの駐車場に止めた方が便利だと感じる方も多いと思います。そこで、シャトルバスを利用したくなる工夫をするのはどうでしょうか。例えば、シャトルバスに乗った人のみが買えるグッズを用意するなど特典を付けたり、車で回るよりもお店の近くに止められたりするなど、シャトルバスに乗る利点を増やし、陶器市へ行く手段としてもっと活用されると渋滞解消につながるのではないのでしょうか。

町としてのお考えをお聞かせください。

議長 5番、神田千迅議員の質問に対し執行部の答弁を求めます。

池田産業建設部長 はい。議長。

議長

池田浩之産業建設部長。

池田産業建設部長 はじめに、議員がおっしゃるとおり、陶器市には、毎年たくさんの観光客がの方に訪れていただいておりますが、期間中は、町内の至る所で渋滞が発生し、町民の方々にも、ご迷惑をおかけしているのが現状です。ご提案いただいたように、渋滞緩和のためのシャトルバスの運行は効果的な方策の一つかと思っております。また、シャトルバスの利用者に限定して、グッズ販売の得点をつけたり、販売店の近くでバスの乗り降りができれば、シャトルバスを利用していただける観光客の増加が期待され、陶器市期間中の渋滞緩和に資するものと思われまます。

今後につきましては、陶器市に来られる観光客の方々が、陶器市をより楽しめるように、また町民の皆さんが、陶器市の期間中も安心・安全に生活で

きるよう、町としましても、陶器市に関係する組織や団体の皆さんと協力して、渋滞解消に向けた施策を検討していきたいと考えております。

議長 執行部の答弁が終わりました。再質問があればこれを許します。

神田議員 はい。議長。

議長 5番、神田千迅議員。

神田議員 陶器市の渋滞緩和についての前向きなご検討ありがとうございます。益子町のよさの一つである陶器市が、シャトルバスや限定グッズによって、より盛り上がり、渋滞も緩和されたらうれしいです。無料駐車場の確保や販売店近くで乗り降りできる周遊型のシャトルバスの運行については、ご検討をお願いいたします。また、グッズ販売の特典など、町民や観光客に募集やアンケートをとり、次の年に生かすなど、「また来てみたい。」と思ってもらえるような取り組みも良いかと思えます。引き続き、ご検討をお願いします。

議長 再質問に対し執行部の答弁を求めます。

鮎沢観光商 はい。議長。

工課長

議長 鮎沢義則観光商工課長。

鮎沢観光商 神田議員がおっしゃるとおり、無料駐車場の確保や販売店の近くで乗り降りできるシャトルバスの運行につきましては、観光客がこれまで以上に快適に町内観光を楽しんでいただけるよう、町としましても、協力して参ります。また、グッズの販売の特典などについて、町民や観光客の方へのアンケート実施というご提案につきましても、関係者とともに検討して参ります。なお、今日まで開催されております秋の陶器市では、シャトルバスを運行し、一部の駐車場から城内坂交差点まで送迎しておりまして、渋滞の緩和や観光客の方が「陶器市に来てよかった」と思ってもらえるよう工夫しながら実施しているところです。

神田議員 ありがとうございます。以上で一般質問を終わらせていただきます。

議長 5番、神田千迅議員の一般質問を終わります。

議長 6番、海老澤駿議員の一般質問を許可します。

海老澤議員 はい。6番、海老澤駿です。

議長 6番、海老澤駿議員。

海老澤議員 僕たちの通う益子西小学校では、広い校庭と豊かな自然があり、恵まれた環境の中で勉強や運動をすることができています。

しかし、学校周辺については、道路が狭く、登下校の時間帯には危険だと感じる場合があります。また、夏場には雷などで緊急のお迎えなどもあります。狭い道路にたくさんの車が集まることもあるので、僕たちの安全のためとはいえ、地域の方の通行の邪魔になることもあると思います。これは、他の学校でも同じ状態にあると思います。

そこで、児童生徒や保護者、地域の方がもっと安心できるようにするために、学校周辺道路の安全確保に取り組んでいただけたらと思います。

町としてのお考えをお聞かせください。

議長 6番、海老澤駿議員の質問に対し執行部の答弁を求めます。

池田産業建設部長 はい。議長。

議長

池田産業建設部長 池田浩之産業建設部長。

池田産業建設部長 海老澤議員の質問にお答えします。はじめに、議員がおっしゃるとおり、学校周辺道路の安全確保については、町としても重要な課題と認識しております。歩道を整備したり道路を広げたりするなど、道路整備をすることが、安全確保についての一歩の解決方法と考えており、町としても通学路の整備を進めておりますが、全ての学校周辺道路の整備には、多くの時間や費用がかかってまいります。

そこで、まずは即効性が高く、実現可能な方法で、安全確保のあり方などを、警察や学校などの関係機関と協力の上、検討して参ります。

議長 執行部の答弁が終わりました。再質問があればこれを許します。

海老澤議員 はい。議長。

議長 6番、海老澤駿議員。

海老澤議員 ご検討ありがとうございます。道路整備は多くの時間と費用がかかってしまうという難しさがあることが分かりました。学校でも、車の出入りについてお知らせを出したり、渋滞の対策をしたりして安全確保の施策を行っていますが、町の方からも、地域の方に理解していただけるような協力依頼をぜひお願いしたいです。僕たち自身もこれからも交通安全に気を付けます。引き続き、ご検討をお願いします。

議長 再質問に対し執行部の答弁を求めます。

福田建設課長 はい。議長。

議長

福田建設課長 福田浩一建設課長。

福田建設課長 学校でも安全確保の対策に取り組んでいただき、ありがとうございます。町から地域の方への安全確保の協力依頼についてですが、学校周辺道路については安全に十分配慮して運転していただくよう、関係する自治会などへ協力依頼をするよう検討して参りたいと考えております。また、議員の皆さん方についても、学校周辺だけでなく日常生活においても、交通安全には今後も十分に気を付けてください。

海老澤議員 ありがとうございます。以上で一般質問を終わらせていただきます。

議長 6番、海老澤駿議員の一般質問を終わります。

議長 7番、小林輝己議員の一般質問を許可します。

小林議員 はい。7番、小林輝己です。

議長 7番、小林輝己議員。

小林議員 益子町では、高齢者向けふれあいサロン等の集いを開催したり、いきいきクラブやシルバー人材センター等の活動を支援したりしていることを知りました。高齢者の生きがいづくりや活躍の場をつくることは、高齢者が、いつまでもいきいきと安心して笑顔で生活できる暮らしづくりにつながると思います。

益子町の高齢化率は2020年度の統計によると32.4%であり、今後も高齢者の割合は増加していきます。町の高齢者が元気に活動していることは、町全体に元気があるように感じられるので、私たちも町を元気にする力になりたいと思いました。

しかし、私たちは高齢者と関われる機会はあまり多くはありません。そこで、いきいきスポーツ大会などのイベントの際に、子どもの私たちが大会のお手伝いや応援をしたり、一緒に競技をしたりするのはどうでしょうか。高齢者の方と交流を図り、少しでも力になれる機会があると、私たちもやりがいを感じられます。また、益子西小学校では、夏休みに「西小ワークショップ」という活動が行われています。地域の方のおかげで昔遊びや民話を知ることができました。このような機会があると、高齢者の方と交流しながら、新たな学びを得ることができるというよさがあります。高齢者との交流を通して、さまざまなことを学ばせていただいたり、役に立つことができたりするのいいと思います。

町としての考えをお聞かせください。

議長 7番、小林輝己議員の質問に対し執行部の答弁を求めます。

仁平民生部 はい。議長。

長

議長 仁平秀子民生部長。

仁平民生部 小林議員のご質問にお答えいたします。高齢者がいきいきと安心して笑顔で生活できるらしづくりは、明るいまちづくりに欠かせない非常に大切なことであると考えております。現在町では、自治会を単位として住民が主体となって運営する「いきいきクラブ」や、ボランティアと参加者で活動する「ふれあいサロン」をはじめ、運動・認知・口腔機能の向上を目指した「介護予防教室」を実施するなど、ご高齢の皆さまに楽しみながら健康な日々を過ごしていけるよう、様々な施策を展開しているところでございます。

現在のところ、これらの事業は平日に開催されていることから、皆さんに御協力いただくことは非常に難しい状況であります。学校では、コロナ禍以前には、生活科や総合的な学習の時間などで、高齢者の方々との交流が行われていたと思います。益子西小学校でも夏休みに「西小ワークショップ」という活動が行われているということで、地域の方々とのふれ合いがあることは素晴らしいことであると思います。ここ数年、学校行事や学校の学習の中での交流が難しかったことと思っておりますが、今年度からは少しずつ学校においても以前からの行事や活動を元に戻す動きが出てきていると思っております。今後につきましては、益子西小学校だけにとどまらず、町内各小中学校とも高齢者との交流活動を行うことができるよう検討したいと考えております。

議長 執行部の答弁が終わりました。再質問があればこれを許します。

小林議員 はい。議長。

議長 7番、小林輝己議員。

小林議員 ご検討ありがとうございます。

高齢者のために様々な施策を行い、高齢者がいきいきと生活できる町づくりをし

ていることが分かりました。学校では、様々な学習の中で、高齢者の方々と関わ
れそうな内容のものも多いです。僕たちも、ワークショップなどをおして、
積極的に地域の方と関わられるようにしていきたいと思います。そこで、学校で
もボランティアの方を募集していますが、学校区に限らず、高齢者の特技を生か
した「ボランティア登録制度」などがあると、多くの方々と関わる機会が増える
と思います。交流活動については、引き続き、ご検討をお願いします。

議長 再質問に対し執行部の答弁を求めます。

三尾谷学校 はい。議長。

教育課長

議長 三尾谷治学校教育課長。

三尾谷学校 高齢者に限らず、ボランティアの登録制度につきましては、今のところ社会
教育課長 福祉協議会でボランティア団体との活動をしているところではござい
ますが、 今後このような制度についても、検討していきたいと考えているところ
でござ
います。

小林議員 ありがとうございます。以上で一般質問を終わらせていただきます。

議長 7番、小林輝己議員の一般質問を終わります。

議長 8番、大島琉翔議員の一般質問を許可します。

大島議員 はい。8番、大島琉翔です。

議長 8番、大島琉翔議員。

大島議員 社会科の授業で、子育て支援のための児童センターについて知りました。益
子町には、子育て中の親子が気軽に集まり、情報交換や子育て相談等が行え
る室内の遊び場として子ども子育て支援拠点施設「ましっこハウス」があ
ります。子育てをする家庭を支える施設があることは、子育て中の保護者に
とって心強いと思います。また、ましっこハウスは、毎週水曜日の 16:30
から 18:00 まで自習室として使えることを知りました。

しかし、「ましっこハウス」で学習したいと思っても、学区外であるた
め、利用することが難しいと感じています。また、中央公民館図書室にも学
習席がありますが、図書室内なので、友だちと教え合いながら学習すると他
の利用者のめいわくになってしまい、利用しづらいと感じています。新図書
館整備計画が、既存の町民会館の増改築案に決定したので、そこに自習やグ
ループ学習もできるような学習室があると小学生も利用しやすいと思います。
また、地域の大人や大学生に分からないところを質問できるような場所や機
会があるとうれしいです。しかし、まだ完成までには時間がかかるので、私
たちも利用しやすい学習室を設置していただけないでしょうか。例えば、時
々でもいいので、埴公民館を学習室として開放するのはどうでしょうか。毎
週水曜日や長期休業中の数日を学習室として使うことができれば、学区内な
ので自分で行くことができ、自習したり、友だちと教え合いながら勉強した
りすることができます。ぜひ、各学内に小学生も利用しやすい学習室を設
置してください。

町としてのお考えをお聞かせください。

議長 8番、大島琉翔議員の質問に対し執行部の答弁を求めます。

三田教育長 はい。議長。

議長 三田進教育長。

三田教育長 大島議員のご質問にお答えします。はじめに、新図書館整備計画の中に、小学生が利用しやすい学習室を設置してほしいとのことのご質問についてでございますが、新しい図書館が建設されることになりましたら、その中で小学生が利用しやすい学習の場所が作れるかどうかを考えていきたいと思っております。また、埴公民館を学習室設置につきましては、皆さんの身近な場所で学習できるという点で、とてもよいアイデアでございます。

しかしながら、埴公民館は、埴自治会の建物でもございますので、今後検討課題として考えて参りたいと思っておりますので、ご理解をお願いいたします。

議長 執行部の答弁が終わりました。再質問があればこれを許します。

大島議員 はい。議長。

議長 8番、大島琉翔議員。

大島議員 小学生が利用しやすい図書館についてのご検討ありがとうございました。埴公民館の学習室についてですが、公民館は、社会教育施設としての役割を求められる場所であると学習しました。熱海市では、「公民館寺子屋」という取り組みがあることを知りました。現在ある施設を利用して、週に1回や長期休暇中だけでも僕たちが学習できる場があるとうれしいです。今後は、地域と連携して公民館の活用と、僕たちの身近な学習場所のためにも、実現に向けたご検討をお願いします。

議長 再質問に対し執行部の答弁を求めます。

三尾谷学校 はい。議長。

教育課長 熱海市の公民館寺子屋につきましては、このような先進的な熱海市独自の取り組みを行っていることを初めて知りました。今後、この件につきまして研究していきたいと考えているところでございます。

議長 8番、大島 琉翔議員の一般質問を終わります。

議長 坂入武司副町長より総括的答弁をいただきます。

坂入副町長 はい。議長。

議長 坂入武司副町長。

坂入副町長 子ども議会議員の皆さん、長時間にわたり、大変お疲れ様でした。

この独特な雰囲気を醸し出す議場で子ども議員の皆さんが堂々と、そして元気に質問されている姿は大変立派であり、深く感心いたしました。

皆さんには今日の日のために、多くの時間を使って準備をしてくださったことと思っております。

そして、日頃から感じていることや疑問に思っていることなど、友達やご家族、そして先生とも話をしたり、様々なことを考えたり調べたりもしたというふうに

思います。

そんな議員の皆さんには心から敬意を表します。今日の経験をこれからの皆さんに活かしてほしいと本当に心から思っております。

さて、私の方から全体を通して感じたことを若干お話させていただきます。

まず、1番薄羽議員でございます。

元気に質問をされ、答弁に対しましてですね、うなずいていたというのが印象に残っております。議員からは益子町の魅力を世界についてという質問をいただいております。

益子焼だけではなくて、その他の町の魅力にも触れてもらうためのイベントの開催や情報発信について提案をいただきました。

宿泊施設が少ないというご指摘も、町の観光の課題を的確に突いておりました。

益子町には素晴らしい観光資源が数多くあります。インターネットをさらに活用し、世界に向けて、益子町の魅力を発信していきたいと思います。

2番、田中議員。はっきりした話し方をされていたのが印象的であります。

議員からは、新しい農業のあり方についての質問、スマート農業についてということでご提言をいただきました。

スマート農業についてはしっかりと調べており、農業に対するイメージがかっこいいと感じたということをお聞きして、とても嬉しく思ったところであります。また、経営的な視点を持って再質問されたこと。これにつきましても頼もしいということを感じました。これからも魅力的な職業として、農業に興味・関心を持ってくれる人が増えることを願っているところであります。

3番、石川議員でございます。

花に着目した優しい視点での質問だったというふうに思います。議員からは、ましこ花のまちづくり事業の活性化について、幅広い年齢層が参加できるイベントの開催、そしてSNSを通しての企画募集などアイデアを生み出していくことが重要との提案をいただきました。各学校へアイデアを募集すると、様々なアイデアが集まりそうだというふうに感じたところです。

これからの時代は、斬新なアイデアをいかに生み出していくかということが大切になります。皆さんがいろいろなアイデアを様々な機会を通じて提案されることを期待しています。

4番、三村議員でございます。

元気でメリハリのついた発言をされていたというふうに感じました。

議員からはmashipoの活用ということで、イベント時のmashipoの活用や電子マネー化について提案をいただきました。他のイベントと連携することでイベント参

加者やmashipoの利用者の増加を見込んだ、まさに一挙両得の提案だと感じたところでもあります。買い物をするときはぜひmashipoを利用してほしい、そう思いました。

5番、神田議員でございます。質問に大変勢いを感じました。

議員からは陶器市の渋滞対策解消に関する質問でございました。

陶器市の期間中は、町内の至るところで渋滞が発生しているのが現状です。

今月3日から今日まで開催されました、秋の陶器市、先ほど答弁中でもありましたけども、かなり渋滞してございます。陶器市に来られる観光客の方々が、陶器市をより楽しみ、提案いただいた周遊型の シャトルバスがスムーズに運行するためにも、総合的な渋滞対策を検討する必要があるというふうに思っております。

6番、海老澤議員であります。

落ち着いた質問だったと感じております。議員からは学校周辺の安全確保に関する質問でございました。これは行政としましては、とても重要な事項の一つでございます。答弁にもありましたが、全ての学校周辺道路の整備には時間がかかりますので、安全確保のあり方について、交通指導員やスクールガードの方とも協力し、今、町でできることをしてまいります。

また、生徒さんが自ら、日頃から危険箇所注目し、問題意識を持ちたいという姿勢。これは大変立派で素晴らしいと思ったところでもあります。生徒の皆さんが常日ごろから気を配った行動をとられるよう、町からもお願いをいたします。

7番、小林議員であります。元気な発言の中にもですね、高齢者に対する優しい気持ちを感じたところでもあります。

議員からは、高齢者が生き生きと暮らすまちということで、高齢者の方との交流について提案をいただきました。高齢者のイベントに参加することで、お互いの理解が深まり、若い皆さんのエネルギーを感じることによって、高齢者の方も元気をいただけることになると思います。人生経験の豊かな高齢者の方の技を生かすボランティア登録制度のアイデアは素晴らしい発想だと思いました。

8番、大島議員でございます。勉学に対する高い意欲を感じる積極的な質問だったというふうに思います。

議員からは学校外でも学ぶ場所に関する質問でございました。友達と教え合いながら学習し、自らを高めていきたいと考えるその姿勢はとても素晴らしく、町としてもできる限りその意欲に応えていきたいと考えます。身近な場所である自治公民館を学習室として開放するという観点は、幅広い視点で物事を捉えた、とても良いものだというふうに思います。どのようにともに学び合う場を用意できるか検討していきたいと思っております。

そして川島議長でございます。

しっかり落ち着いて議長の責務を果たしていただきました。大変立派な議事進行だったというふうに思います。さて、今日の子ども議会を通じまして、議員として参加していた方だけではなくて、傍聴していただいている益子西小学校6年生の皆さんにも、町の議会がどのように行われているかということを知っていただけたかなというふうに思います。

さらに町の議会の議員の皆さんがですね、議会でいろいろ質問されるわけですが、そのためには、常に社会の動きを捉えていろいろ調べた上で質問されている、そういうことを感じ取っていただけたのではないかなというふうに思っております。これを機会にですね、引き続き皆さんが町の様々な取り組みに、さらに社会に関心を持っていただくことを大いに期待するところでございます。

最後に参加いただいた生徒の皆さん、そしてご指導いただいた先生方に感謝を申し上げ、私の総括といたします。

本日は大変ありがとうございました。

議長 行政に関する一般質問を終わります。

議長 日程第4、子ども議会宣言についての件を議題といたします。この件につきましては、子ども議会議員全員から、子ども議会宣言の申し出がありました。子ども議会議員においては「このまちに生まれ、育ったことが私たちの誇りです」と、声を大にして言えるまちづくりを目指し、次のことを宣言します。一．私たちは、まちのため、地域のため、家族のためにできることを日々実践していきます。二．私たちは、このまちを思い愛する心、思いやりの心の輪を広げていきます。三．私たちは、まちの将来を考え、最大の関心をもって生活していきます。

確認いたします。本件につきましては、申し出の通り、子ども議会宣言をすることに、ご異議ありませんか。

議員 異議なし

議長 異議なしを認めます。よって、子ども議会宣言とすることに決しました。
議長 これをもって、令和5年度益子町子ども議会を閉会するところですが、この場をお借りし、子ども議会を代表してお礼と感謝の言葉を申し述べさせていただきます。このたび、私たちは「子ども議会議員として行政に参画し、政策提言をする」という、貴重な経験をさせていただくことができました。本物の議場で、仲間と共有した緊張感は、私たちを一回りも二回りも成長させてくれたような気がしています。また、私たちの知らないところで、実に多くの人たちがこのまちを支えてくださっていることも実感することができました。子ども議会への参画を機に、私たちの「まちへの思い、このまちに暮らす人への思い」は、より大きく強く、そして優しくなれました。このようなすばらしい体験をさせていただきましたこと、そして私たちをご指導くだ

さいましたすべての皆様に心から感謝申し上げ、令和5年度益子町子ども議会を閉会いたします。

これより、国旗、町旗に対して敬礼を行います。傍聴の方もお願いいたします。礼。おなおりください。

－ 閉会 15時46分 －

[署名]

令和 年 月 日

議長

署名議員

署名議員
